

## 解答

一

- 問一 ① 気管 ② 慣習 ③ 責〔める〕 ④ 傷〔む〕 ⑤ 未開  
 問二 ① エ ア ② ア ③ イ ④ エ  
 問三 ① 雨 ② 納  
 問四 ① 遂行 ② 由来 ③ 原理 ④ 便宜

二

- 問一 II  
 問二 X 時間 Y 知識  
 問三 A イ B ウ C ア D エ  
 問四 ア  
 問五 エ  
 問六 教養  
 問七 ウ  
 問八 イ  
 問九 ひたすら読書をして、それは他人の考えを追いかけているにすぎず、著者の言いたいことや、自分が得るものについて考えなければ教養にならないということ。

三

- 問一 a イ b ア c エ d ウ  
 問二 I イ II エ III ア IV ウ  
 問三 暗く厚い雲  
 問四 エ  
 問五 ウ  
 問六 エ  
 問七 イ  
 問八 深雪…強く鮮やかな思い / 真吾…真剣さや真面目さ  
 問九 ア

## 解説

二

- 問四 傍線部①の前では、私の「人生を変えた一冊」について述べています。『続 地方記者』という本を読んで、記者たちの活躍ぶりに魅了され、子ども心に感激して、将来は地方で働く新聞記者になろうと決意した様子から、最も適切なものとして選択肢アが選べます。
- 問八 本文の中盤に着目すると、シヨールペンハウエルが、読書は他人の考えた過程を反復的にたどるにすぎないと述べていることがわかります。しかし、「自分の考えを捨てることにもつながる」とは述べていないので、適切でないものとして選択肢イが選べます。

三

- 問四 傍線部②の前後に着目します。英語でランナーという単語が出てきたとたんに真吾の顔がちらつき、問題に集中できなかったことや、大声を出して手をふって応援している様子から、選択肢エが選べます。
- 問七 傍線部⑤の後にある「お前が五キロの走り、へばるタマか。まったく下手な芝居をして。」という言葉から、小泉先生が真吾のポーズを見ぬいていたことがわかるので、最も適切なものとして選択肢イが選べます。